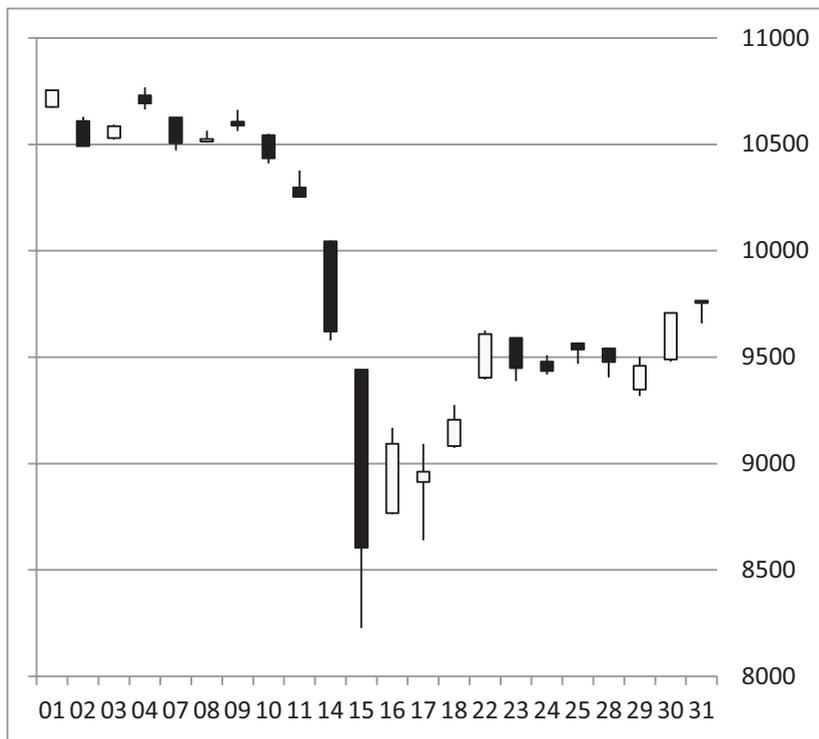


2011年3月

3・11、14時46分ごろ……
宮城県中部、仙台は震度6強……

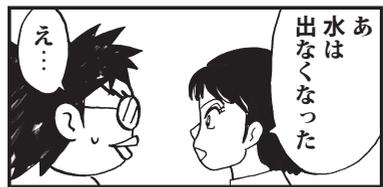


2011年3月の日経平均



- 11日** 14時46分、東日本大震災。震度7、M9.0（国内史上最大）、津波10メートル超。震源は三陸沖。死者不明者2万人超
- 12日** 東京電力福島第1原発1号機で炉心溶融
- 14日** 日経平均、633円94銭安の9620円49銭で1万円割れ
- 14日** 東京電力、午後5時から計画停電を実施
- 15日** 日経平均、前日比1015円34銭安の8605円15銭
- 16日** NY、円相場が1ドル=76円25銭、16年ぶりに高値更新
- 18日** G7緊急の電話会議、円売り協調介入で合意





3月14日月曜日 午後

朝は証券会社の
コールセンター
つながらなかった
さて今は...

はい
コールセンターです

つながった!

あ全部
手仕舞いたいんですけど

ほかの人みんな
安否確認なのに
オシだけ株って...



ご確認させて
いただきます
信用売 建日03月05日
返済期日.....

ちょっと
後ろすんごい
並んでるから早くして!!

いのち
生命が助かったら
次は
財産を守るのが
オシの役目!!

1. 生命
2. 財産

なんにも
後ろめたくないぞ

その日のうちには
すべて手仕舞えず
買いが1個残る

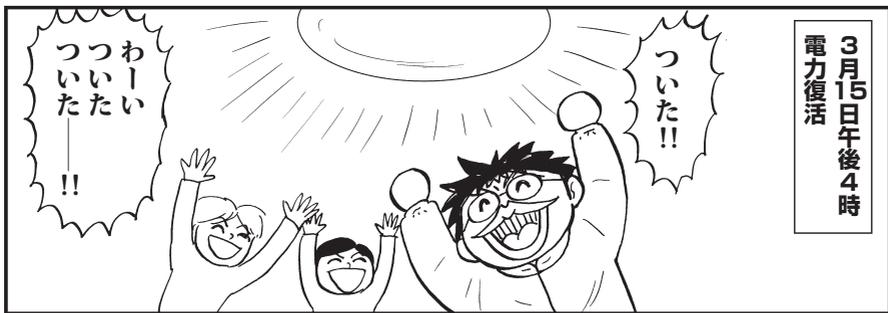
翌日の大引けに
ようやくすべて
手仕舞えた

あははは手仕舞い
置いとく袋り
← 東芝 1000株

3/14 +573
3/15 -85
3/11 +93

TOPIX

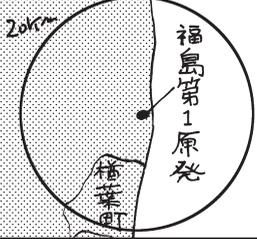
1日の最高益を更新し
総資産も
1400万を
突破したけど...
素直に喜べない



父の実家は
福島県榊葉町
父の兄とその息子
つまりオレの
伯父といとこが
そこに
住んでいる

福島第1原発
20キロ圏内

現在
千葉の親類の家に
身を寄せているという



父の実家は農家だ
ウチにたくさんある米も
そこで作られたもの

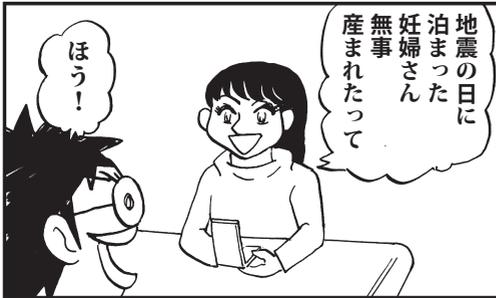
榊葉町の米で
オレたちは
食いつなぐことが
できたのだ





その後、一瞬記憶が飛ぶ





2011年3月末
総資産
13,748,217円
元本増加率
+205.52%
月収支
+181,613円
(+1.34%)
1億まであと11.21年
10億まであと24.21年



2011年3月のタクマ収支報告

(2011/2/28~3/31)



※元金は450万円

今月の収支

プラス18万1613円

4月のオレは…

「想定外」という言葉は、今の雰囲気としてあまり使うべきではない日本語に入るだろう。しかし、こんなこと誰が想定し得ようか。

前回の漫画のなかでオレは「今が絶好の株の始め時」と、性懲りもなく言ったものだが、震災後の発売となつてしまい、ばつこの悪い思いをしている。

しかし、震災後だからこそ、株の始め時なんではないかとも思う。過去何回かの「始め時」発言のなかでも、今回が一番アタリに近いのではないかとさえ思い始めている。

今から始めて儲かるのかどうか、それははっきり言つてまったくわからない。しかし、株が下がったらかなりヤバイことになるのは間違いない。せめて株だけでもしっかりしていないと、復興はおぼつかないのではないだろうか。

大暴落したあとリバウンドし、その後、値を保っているのは、多くの投資家にそういう思いがあるからではないのか。相場を美化しすぎなのだろうか。

それは起こってしまった。

どうにも取り返しつかないことがあまりにも多く茫然とする。が、取り戻すことのできる部分も確実にある。

経済は復興できる。しなければならぬ。そのためには極端な自粛ムードから脱して、一刻も早く普通に仕事を

今こそ、こんなときだからこそ、株をやる。市場を活性化させよう。

どんなスタンスでもいい。頑張っている会社を長期的に応援するというのも、短期の値幅取りでも、デイトレでも何でもいい。相場の参加者にはそれぞれにちゃんと役割があり、こんな

コラム

3.11 東日本大震災

今こそみんなでアホになり、 日本のために株を買おう

し、消費活動をするのが大事だ。

オレの場合、普通に株取引をする。それが復興支援だと思っている。

株は経済の根幹だ。市場での株取引が細ってしまい、企業の資金調達の場合としての意味がなくなれば経済は立ちゆかなくなる。

さないことが第一だ。

もちろん株はギャンブルであり、リスクを伴う。だれにでもお勧めするというわけにはいかない。リスク管理ができ、資金的にリスクをとる余裕のある方は、ご検討いただきたい。今はやめとくけれども、危機的状況が去り、

復興の兆しが見えてきたら投資するというのであれば、むしろ大賛成だ。

こんなときに株をやるのは不謹慎ではないか、という意見もある。株にはギャンブルであるがゆえのある種の娯楽性がある。そこに惹かれてやっている投資家は、自粛したくなるのも仕方がない。それが身を守ることに必要だろうし、否定はしない。投資を娯楽とは考えていない真剣な投資家は、何にも恥じることなく続けるべきだ。

できれば株が上がってほしい。みんなで購入支えよう、とか恥ずかしいことを言ってみたくなる。そんなことできるかはわからない。オレ自身、下があれば空売りもしなければならぬし。アホなんだろうか。アホなんだろうが、アホになるくらいでないと、この苦難には立ち向かえないかも知れない。

(2011年3月末記)



あらためて考える
「備える」 事の意味

書き出そうと思ったら、また揺れた。震度4。3週間たつてもまだこのクラスの余震がある。

しかしウチは幸運だった。人的にも物的にもほとんど被害がなく、物資もまあまあ足りていた。量はやや少なかったが三食欠かすことはなく、それなりに暖をとることもできた。

周りの人たちのなかには、買い物で4〜5時間並んだとか、ガソリンを入れるのに14時間、徹夜で並んだとかいう人もいた。それに比べれば楽なほうだった。

備えや危機管理がしっかりしていたわけではない。たまたまだ。たまたまガソリンを入れたばかりとか、米を

はじめ食べ物が残っていたとか、細かいツキの積み重ねで凄い。

一方、備えは万全だ、絶対安全だと言いつづけていた原発が無残に事故つた。万全の備えなどなかった。安全に停止したとされる福島第2や女川原発だつて、たまたま助かっただけで、状況がちよつと変わっていたらヤバかったんじゃないかと思う。

人間は原発を全然使いこなせていない。事故が起きないというのは大嘘だったし、起こつたあとの対処法も口々に知らなかった。情報開示も錯綜しなくなりで訳がわからない。現場だけでなく、我々一般国民にしても、原子力や放射能についての知識がほとんどなく、すぐにパニックを起こす。原発の実用化は100年早かつたんじゃないか。

「備えあれば憂いなし」という言葉が空しく響く。どれだけ備えたつもり

になつていても、どうしようもないときはどうしようもない。運良く助かることもあつて、余計判断を難しくする。「備えなんてしても無駄、いらんんじゃないか」と。

容易に結論は出ない。考えるのに何年もかかる問題だ。ただ、備えのおかげで助かった人もいたことは覚えておきたい。

トレードに関して言えば、できることはやった。リスク管理できないときは全部手仕舞うというシナリオどおりだ。備えがうまく働いたのか、たまたま売りポジションが多かつたから冷静に行動できただけなのか。

自分に究極のリスク管理ができるのか。それはまだ試されていない。願わくばそんな機会は訪れないでほしい。

